

# 社員のひと言がきっかけとなった「経営革新」の承認

冷凍魚介類および冷凍食品の輸入、販売を手掛ける(株)西日本冷食。創業2年半の若い企業であるが、同社の日野社長は公的制度の活用に積極的に挑戦する。平成22年度に国の「農工商等連携事業」の認定を受け、さらに経営革新の承認も得ている。

同社は主力商品として水産物の「シャコ」の加工販売をしているが、ある時、「シャコをエサにした鰻は絶対美味しいはず!」という鰻好きの社員のひと言から発想を転換。うなぎは本来、雑食で好んで甲殻類を食べて成長する。鰻にシャコを食べさせたら天然ものを超えるような美味しい“うなぎ”の養殖ができるのではないかと考えた。考えたことをすぐに行動に移すのが日野社長の性分。福岡県内水面研究所を紹介してもらい、同研究所の支援のもと養鰻業者と連携して「農工商等連携事業」の申請をし認定を受けた。この連携事業では、(株)西日本冷食はシャコの残渣を活用した飼料開発と、それを与えて養殖したうなぎの販売を目指し、養鰻業者はシャコ配合飼料を使った養鰻に



取り組むことで、高付加価値の新たな県産ブランドうなぎの生産が期待される。日野社長は、「平成24年度中にシャコを配合した飼料の改良を重ね、25年度には“シャコうなぎ”『筑紫金うなぎ(仮称)』の販売を実現したい」という。また、開発するシャコ配合飼料はブリやタイの養殖エサとしても販売が期待できるとのことで、ビジネスチャンスは膨らむ。

日野社長は、経営革新計画の申請書を作成するにあたり、何をどのように説明したら良いのか分らず、色々な人に教えを請い、自分でも一生懸命勉強した。試行錯誤の後、伝えたいことを視覚的かつ論理的にまとめる力が身についた。それも協力してくれる社員が居てくれたから出来たこと、今後も社員と力を合わせて社会のお役に立つような商品開発を心掛けたいと微笑んだ。



日野社長

## 株式会社 西日本冷食

代表取締役社長 日野 美貴

本社 福岡市東区香椎照葉3-2-1

TEL 092-674-3521